

## 日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部（平成16年10月10日より下記へ移動）

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学経済学部 田中祐二研究室気付 日本国際経済学会本部事務局

Tel: 077-561-4850(田中研究室) Fax: 077-561-3947(経済学部教務センター) E-mail: jsie-off@st.ritsumeai.ac.jp

## プログラム内容の充実と次世代研究者への奨励

日本国際経済学会 会長  
関下 稔

今後2年間にわたって日本国際経済学会の会長の任を務めることになりました。微力ながら、会員の皆様方から付託された任務を誠実に果たしていく所存ですので、これまでも増したご支援を賜りますようお願い申し上げます。幸いにして、前会長の下で、理事の直接選挙と機関誌改革という二つの改革と刷新を果たしました。私たち新しい理事会に課されている任務は、この改革を実質化していくとともに、より一層の学会の発展をめざす諸活動を進めていくことです。今日、学術、研究をめぐる内外の環境は大きく変化していますが、その中で、本学会に期待されている役割を果たすために、とりわけ、以下の2点を強調しておきたいと思います。

第1に全国大会のプログラム内容の充実です。学会の命は活力ある研究活動とその成果の交流にあります。本学会は共通論題と自由論題を基礎にして全国大会のプログラムを作り、会員相互の切磋琢磨と研究交流を通じた成果の蓄積を行ってきましたが、これらの成果を基に、会員の皆さん方の要望をより一層とり入れた、さらに充実した内容にしていきたいと考えています。そのためには、これまでのプログラム委員会に与えられている権限をさらに広げ、強化することも視野に収める必要があります。そして学会にとってふさわしいテーマや報告内容、さらには白熱した討議と研究交流が促進されるようになることを期待しています。

第2にとりわけこれからの本学会を担う若手研究者の育成とその支援の促進です。「小島基金」が発足することになりましたが、基金を申し出られた小島清顧問の「世界をリードする国際経済研究の達成」という強い希求が実現できるように、この基金をとりわけ次世代を担う研究者への奨励として活用したいと役員・顧問一同考え、その具体化を図っていききたいと思います。本学会がこれまで到達してきた優れた研究成果を受け継ぎ、さらに発展させていくことは、グローバル化していく世界経済の解明という緊要課題にとって極めて大事です。

2004年10月17日

## 日本国際経済学会ニュース 2004.11.15 目次

新会長挨拶	1	役員業務分担	6
平成16年度会員総会 議事録	2	会員名簿の訂正・異動	7
役員名簿	4	平成16年度新入会員追加	11
小島基金設立について	5	本部・各支部事務所所在地	12
日本国際経済学会の対外活動について	5		

## 平成 16 年度会員総会 議事録

### 会員総会 (第 1 日)

日時：10月9日(土) 12:50～13:20

場所：慶應義塾大学 西校舎ホール

議長：関下稔 副会長(立命館大学)

#### 1. 平成 15 (2003) 年度事業報告について

木村福成理事(慶應義塾大学)より以下の報告があった。

- (1) 第 62 回全国大会開催(2003 年 10 月 4 日-5 日、京都大学)
- (2) 機関誌『国際経済(第 61 回全国大会報告号)』第 54 号発行(2003 年 7 月)
- (3) 機関誌『国際経済(投稿号)』第 8 号発行(2003 年 11 月)

#### 2. 平成 15 (2003) 年度決算案について【2004 年 9 月 24 日付け日本国際経済学会ニュース 3 頁参照】

木村福成理事(慶應義塾大学)より説明があり、承認された。

#### 3. 特別事業活動基金決算案について【2004 年 9 月 24 日付け日本国際経済学会ニュース 4 頁参照】

木村福成理事(慶應義塾大学)より説明があり、承認された。

#### 4. 平成 16 (2004) 年度事業案について

木村福成理事(慶應義塾大学)より以下について説明があり、承認された。

- (1) 第 63 回全国大会開催(2004 年 10 月 9 日-10 日、慶應義塾大学)
- (2) 機関誌『国際経済(第 62 回全国大会報告号)』第 55 号発行(2004 年 8 月)
- (3) 機関誌『国際経済』第 9 号(2004 年 12 月発行予定)

#### 5. 平成 16 (2004) 年度予算案について【2004 年 9 月 24 日付け日本国際経済学会ニュース 4 頁以下参照】

木村福成理事(慶應義塾大学)より説明があり、承認された。

#### 6. 選出理事選挙について【2004 年 9 月 24 日付け日本国際経済学会ニュース 5 頁以下参照】

木村福成理事(慶應義塾大学)より報告があった。

#### 7. 出版改革と内規改正について

田中素香常任理事(中央大学)より説明があり、承認された。

#### 8. 小島清基金設立について

大山道広会長(東洋大学)および小島清顧問より、小島清基金設立について説明があり、承認された【本号 5 頁に掲載】。

### 会員総会 (第 2 日)

日時：2004 年 10 月 10 日(日) 12:50～13:20

会場：慶應義塾大学 西校舎ホール

議長：関下稔 新会長(立命館大学)

#### 1. 新会長・新副会長の発表について

理事会において、関下稔・副会長(立命館大学)が新会長に選出されたこと、さらに田中素香・理事(中央大学)が新副会長に選出されたとの発表があった。引き続き、新会長、新副会長より就任の挨拶があった。

#### 2. 特命理事の発表について

『日本国際経済学会 会則』第 7 条第 7 項により、理事会で特命理事を以下の通り選出されたとの発表があった。財務担当に青木浩治氏(甲南大学)、第 64 回全国大会準備委員長・プログラム委員長として安藤哲生氏(立命館大学)、さらに外国人理事として Zhao, Laixun 氏(神戸大学)の 3 名である。

#### 3. 新監事の承認について

新監事として若杉隆平氏(慶應義塾大学)、柿元純男氏(中京大学)、森田劭氏(大阪学院大学)が承認

された。

4．新本部事務局の発表について

新本部事務局は立命館大学経済学部内に置かれるとの発表があり、所在地・連絡先が報告された【本号1頁の頭書、および12頁に記載】。

5．新常任理事の任命について

関下新会長より新常任理事を任命したとの報告があった。【本号4頁掲載の「役員名簿」参照】

6．新幹事の任命について

新幹事は各支部に諮りつつ人選中のため、近く発行される『日本国際経済学会ニュース』に掲載・発表されることになった【本号4頁掲載の「役員名簿」参照】。ただし、新常任幹事に田中祐二氏（立命館大学）が決定した旨、発表された。

7．新本部業務の役割分担について

新本部役員の業務分担は考慮中であるため、『日本国際経済学会ニュース』に掲載・発表されることとなった【本号6頁に掲載】。

8．日本経済学会連合評議員の選出について

日本経済学会連合評議員の人選については、関東支部からの推薦により、『日本国際経済学会ニュース』に掲載・発表されることとなった【本号5頁に掲載】。また、日本学術会議・国際経済研究連絡委員会委員は、引き続き井川一宏顧問（神戸大学）をお願いすることが発表された。

9．新入会員発表について

『日本国際経済学会ニュース』（2004年9月号）に掲載しているように新たに36名の新入会員が入会したこと、さらに2名が追加され計38名の新入会員が入会したことが報告された【2004年9月24日付け『日本国際経済学会ニュース』4頁と本号11頁に掲載】。

10．第64回全国大会プログラム委員会の委員長および委員の任命について

関下新会長より、第64回全国大会プログラム委員会委員長に安藤哲生特命理事を任命したことが発表された。またプログラム委員としては、岩本武和常任理事（京都大学）、馬田啓一常任理事（杏林大学）、櫻井公人理事（立教大学）、多和田眞理事（名古屋大学）、中西訓嗣理事（神戸大学）が任命された。さらに、来年度の全国大会を2005年10月15・16日に、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催することが報告された。

11．顧問の就任依頼について

大山道広・前会長を顧問に推挙することが、満場一致で承認された。また、渡辺太郎・顧問が心身上の理由により顧問を退任したい意向があることが伝えられ、承認された。

12．小島清基金設立について

小島清基金設立については、基本方針をベースに本部で運用方法や規定などを煮詰め、『日本国際経済学会ニュース』にその内容を掲載していくことが報告された。なお会員より、小島基金において応募資格は国籍・年齢問わず、門戸を開放してはとの意見が出された。

13．その他

出版委員会は、委員長に阿部顕三常任理事（大阪大学）（英文紀要担当）が任命されたこと、副委員長に木村福成理事（慶應義塾大学）（邦文紀要担当）が任命され、その他の出版委員については『日本国際経済学会ニュース』で掲載・発表されることになった【本号5頁に記載】。

以上

## 役員名簿（印は新任）

会長（定員1名）

関下 稔（立命館大学）

副会長（定員1名）

田中 素香（中央大学）

常任理事（定員10名）

阿部 顕三（大阪大学） 石川 城太（一橋大学） 岩本 武和（京都大学）  
 馬田 啓一（杏林大学） 奥村 隆平（名古屋大学） 小島 眞（拓殖大学）  
 寺町 信雄（京都産業大学） 原 正行（神戸大学） 松村 文武（大東文化大学）  
 和気 洋子（慶応義塾大学）

理事（定員24名）

石田 修（九州大学） 浦田 秀次郎（早稲田大学） 岡本 久之（兵庫県立大学）  
 小川 英治（一橋大学） 勝 悦子（明治大学） 岸 真清（中央大学）  
 木村 福成（慶応義塾大学） 桜井 公人（立教大学） 佐々木 隆生（北海道大学）  
 佐竹 正夫（東北大学） 佐藤 秀夫（東北大学） 嶋田 巧（同志社大学）  
 新保 博彦（大阪産業大学） 鈴木 利大（明治大学）  
 鈴木 典比古（国際基督教大学）  
 多和田 眞（名古屋大学） 内藤 能房（名古屋市立大学） 中西 訓嗣（神戸大学）  
 中本 悟（大阪市立大学） 夏目 啓二（龍谷大学） 広瀬 憲三（関西学院大学）  
 本多 光雄（日本大学） 増田 正人（法政大学） 渡辺 利夫（拓殖大学）

特命理事

青木 浩治（甲南大学）  
 安藤 哲生（立命館大学）  
 Zhao, Laixun（ザオ ライシュン）（神戸大学）

監事（若干名）

若杉 隆平（慶応義塾大学） 柿元 純男（中京大学） 森田 劭（大阪学院大学）

幹事（定員約20名）

【関東支部】

新井 敬夫（亜細亜大学） 遠藤 正寛（慶応義塾大学） 西 孝（杏林大学）  
 古澤 泰治（一橋大学）

【中部支部】

唐澤 幸雄（南山大学） 栗原 裕（愛知大学） 垣田 直樹（富山大学）

【関西支部】

田中 祐二 <常任幹事>（立命館大学）  
 棚池 康信（近畿大学） 中嶋 慎治（松山大学） 溝端 佐登史（京都大学）  
 吉田 千里（立命館大学） 清水 一史（九州大学）  
 張 韓模（佐賀大学） 井上 博（阪南大学）

顧問

小島 清（一橋大学名誉教授） 渡部福太郎（学習院大学名誉教授）  
 池本 清（神戸大学名誉教授・大阪学院大学） 斉藤 優（中央大学）  
 本山 美彦（京都大学） 池間 誠（一橋大学）  
 井川 一宏（神戸大学） 大山道広（東洋大学）

#### その他日本国際経済学会関係者

日本学術会議・国際経済研究連絡委員会委員	井川	一宏	(神戸大学)
日本経済学会連合評議員	和気	洋子	(慶應義塾大学)
	鈴木	利大	(明治大学)
日本経済学会連合『英文年報』編集委員	若杉	隆平	(慶應義塾大学)

#### 出版委員会のメンバー

委員長	阿部 顕三	副委員長	木村 福成、
委員	石川 城太(一橋大学)、	奥村 隆平(名古屋大学)、	小川 英治(一橋大学)
	岡本 久之(兵庫県立大学)、	鈴木 利大(明治大学)、	中本 悟(大阪市立大学)
	渡辺 利夫(拓殖大学)、	若杉 隆平(慶應義塾大学)、	澤田 康幸(東京大学)
	西島 章次(神戸大学)		
幹事	遠藤 正寛(慶應義塾大学)、	菊地 徹(神戸大学)	

## 小島清基金の設立と小島清基金運営委員会の発足について

当学会の顧問でいらっしゃる小島清先生より、浄財 2000 万円を日本国際経済学会により設立・管理される「小島清基金」のために寄付したいとお申し出がありました。小島先生からは、「1 年間に出版された国際経済関係の優秀作品(論文・単行本)に 100 万円程度の小島賞を出し、その際の運営委員会の長は会長を終えられた顧問があたる」というアイデアがだされています。これから、その運用方法や規定を具体化する上での基本事項を理事会および会員総会で以下のように確認しました。

1. 小島清顧問の寄付に基づき、日本国際経済学会内に小島清基金を設置する。
2. この基金は、日本国際経済学会会員の中から優れた学術的業績をあげた者に「日本国際経済学会小島清賞」を与える事業、加えて必要と認められる場合には国際経済学研究に資する他の事業を支援することを目的とする。
3. この基金の管理・運営は、直前会長を委員長とし数名の委員によって構成される「小島清基金運営委員会」が当たる。
4. 「運営委員会」の構成は、委員長が小島清顧問、会長、および各支部役員会の意見を聴取した上で決定する。委員の任期は 2 年とする。
5. 「運営委員会」は、次期理事会までに小島清基金運営委員会の内規を確定する。

## 日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、日本国際経済学会より韓国国際経済学会に派遣される会長と報告者および研究テーマは以下の通りです。

2004 年度韓国国際経済学会 冬季学術発表大会(2004 年 12 月 3 日 高麗大学)

会長：関下稔(立命館大学)

報告者：

吉野文雄(拓殖大学) "Japanese FTA Strategy Challenges and Prospects"

須賀宣仁(名古屋大学・日本学術振興会特別研究員)

"An Analysis of Transboundary Pollution and the Gains from Trade : Reconsideration"

同行者：張 韓模(佐賀大学)

## 役割の業務分担 ( 印は責任者 )

【関東支部】	【中部支部】	【関西支部】
本部関係		
< 総務担当 >		
常任理事 松村 文武		岩本 武和
理事 櫻井 公人	多和田 眞	
佐竹 正夫		
幹事		溝端 佐登史 吉田 千里
<u>ニュース</u>		
常任理事 和気 洋子	奥村 隆平	
理事		新保 博彦
幹事		棚池 康信
<u>会員名簿</u>		
理事 本多 光雄	内藤 能房	広瀬 憲三
< 財務担当 >		
常任理事 小島 眞		
理事 鈴木 典比古	内藤 能房	青木 浩治
幹事		田中 祐二 ( 常任 )
< 編集・出版担当 >		
常任理事 石川 城太	奥村 隆平	阿部 顕三
理事 木村 福成		岡本 久之
小川 英治		中本 悟
鈴木 利大		中西 訓嗣
渡辺 利夫		
幹事 遠藤 正寛		
< 企画・渉外担当 >		
常任理事		原 正行
理事 浦田 秀次郎	多和田 眞	嶋田 巧
勝 悦子		ザオ ライシュン
< 監査 >		
監事 若杉 隆平	柿元 純男	森田 劭
< 支部関係 >		
常任理事 馬田 啓一		寺町 信雄
理事 岸 真清	多和田 眞	夏目 啓二
佐々木隆生		石田 修
佐藤 秀夫		
増田 正人		
幹事 新井 敬夫	唐澤 幸雄	中嶋 慎治
古沢 泰治	栗原 裕	清水 一史
西 孝	垣田 直樹	張 韓模
		井上 博

## 会員名簿の訂正・異動

((個人情報が含まれておりますので、ここでは割愛させていただきます。会員の皆様にお送りしている  
ニュースレターのハードコピーをご覧ください。))

## 平成 16 年度新入会申込者 (追加)

((個人情報が含まれておりますので、ここでは割愛させていただきます。会員の皆様にお送りしている  
ニュースレターのハードコピーをご覧ください。))

## 本部・各支部事務所所在地(注： 印付は新しい事務局所在地)

### 【本部】日本国際経済学会 本部事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1  
立命館大学経済学部 田中祐二研究室気付  
Tel: 077-561-4850 (田中研究室) Fax: 077-561-3947(経済教務センター)  
E-mail: jsie-off@st.ritsumeai.ac.jp

### 【関東支部】日本国際経済学会 関東支部事務局

〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476  
杏林大学総合政策学部 西 孝 研究室気付  
Tel: 0426-91-0011 (代表) Fax: 0426-91-5899  
E-mail: nishi@kyorin-u.ac.jp

### 【中部支部】日本国際経済学会 中部支部事務局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学経済学研究科 多和田眞研究室気付  
Tel & Fax : 052-789-2391 (研究室直通)  
E-mail: mtawada@soec.nagoya-u.ac.jp

### 【関西支部】日本国際経済学会 関西支部事務局

〒612-8577 京都市伏見区深草本町 67  
龍谷大学経営学部 夏目啓二研究室気付  
Tel: 075-645-8540 (研究室直通) Fax: 075-643-8510 (研究推進課)  
E-mail: natsume@biz.ryukoku.ac.jp

【日本国際経済学会ホームページ】 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsie/>

### 【学協会サポートセンター】

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502  
Tel: 045-671-1525 Fax: 045-671-1935  
E-mail: KHB20710@nifty.com